

対象校No. 32
注4

学校コード F110110101713
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 研究科の設置
注1

意見伺い

注2
群馬大学大学院 医理工レギュラトリーサイエンス学環

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

国立大学法人群馬大学
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	総務部企画評価課
職名・氏名	カカリチョウ 係長 ・ ヒグチ ヤスヒロ 樋口 康弘
電話番号	027-220-7015
(夜間)	027-220-7015
e-mail	kacho-akikaku@ml.gunma-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

医理エレギュラトリーサイエンス学環

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	32

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人群馬大学

(2) 大 学 名
群馬大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒371-8511
群馬県前橋市昭和町三丁目39番22号
〒376-8515
群馬県桐生市天神町1-5-1
〔〒371-8510
群馬県前橋市荒牧町4丁目2番地〕

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)	
学 長	(イシザキ ヤスキ) 石 崎 泰 樹 (令和3年4月1日)		
学 環 長	(ハナイズミ オサム) 花 泉 修 (令和6年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和6年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5)－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称（学位）	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
医理エレギュラ トリーサイエン ス学環 修士（医理工学）	医学関係	2 年	5 人	2年次	10 人		
	理学関係			0 人			
	工学関係			3年次 0 人 4年次 0 人			

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「－」を選択。）

(5)－② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 5 (－) [－]	人 － (－) [－]	春季入学以外の 学期区分を設け る予定	1.2倍	1.2倍	
志願者数	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	6 (－) [1]	－ (－) [－]				
受験者数	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	6 (－) [1]	－ (－) [－]				
合格者数	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	6 (－) [1]	－ (－) [－]				
B 入学者数	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	6 (－) [1]	－ (－) [－]				
入学定員超過率 B／A	－		－		－		－		－		1.2					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「－」を記入してください。
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「－」を選択。）
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
- ・ 「(5)－② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	6 [1] (ー)	－ [ー] (ー)	
2 年次			－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
3 年次					－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
4 年次							－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
計			－ [ー] (ー)				－ [ー] (ー)		－ [ー] (ー)		－ [ー] (ー)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
- また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	6 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜医理工レギュラトリーサイエンス学環＞

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
大 学 院 共 通 科 目	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	Research Skills – Presentation and Writing 効果的なプレゼンスキ ルとライティングスキル	1後	2							4
		小計(1科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	4
	サ イ デ ー タ ス	Pythonによる数理解析	1前		2						3
		画像処理と実践応用演 習	1前		2						3
		小計(2科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	3
	レ ギ ュ ラ ト ー リ ー	レギュラトリーサイエン ス概論	1後	2		1	1				14
		小計(1科目)	—	2	0	0	1	1	0	0	14
ク ブ ト シ ス 科 目	重粒子線医理工連携 特論	1前	2			6	1		7		2
		小計(1科目)	—	2	0	0	6	1	0	7	2
医 理 工 共 通 科 目	研究倫理	1前		1							8
	研究倫理(e-learning)*1	1通		1							2
	放射線関連法規および 勧告*1	1通		1		1					
	情報処理学・画像工学 *1	1通		2		1					1
	統計・情報処理演習 A*1	1前		2							2
	解剖学*3	1前		1							3
	生理学*3	1通		1							1
	病理学*3	1通		2							4
	小計(8科目)	—	0	11	0	1	0	0	0	0	18
医 学 物 理 基 礎 科 目	放射線基礎物理学*1	1後		2		1					
	原子核物理学*3	1通		2		1			1		
	力学*3	1通		2		1					
	電磁気学*3	1通		2		1			1		
	量子力学*3	1通		2		1			1		
	物理数学*3	1通		1		1			1		
	小計(6科目)	—	0	11	0	1	0	0	3	0	0
重 粒 子 線 医 理 工 科 目	保健物理・放射線防護 学講義*1	2通		2		1			1		1
	放射線診断・核医学物 理学講義*1	2通		2		1			1		1
	放射線治療物理学講 義*1	2通		2		1			2		
	医学物理実習*1	2通		1		1			5		
	医学物理演習*1	2通		1		1			2		
	放射線計測学講義*1	2通		2		1			2		
	医用加速器工学*2	1通		2		1			1		
	小計(7科目)	—	0	12	0	1	0	0	6	0	2
生 命 医 科 学 科 目	生命医科学基礎実習A	1前		1							2
	生体分子情報学講義A	1前		2							2
	放射線生物学*1	1後		2		3			1		5
	重粒子線生命科学特 論	2前		2		1			1		
	臨床腫瘍学講義*2	2通		2		3					1
	臨床検査・画像核医学 講義*2	2通		2							2
	小計(6科目)	—	0	11	0	5	0	0	2	0	12

【令和6年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
大 学 院 共 通 科 目	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	Research Skills – Presentation and Writing 効果的なプレゼンスキ ルとライティングスキル	1後	2							4
		小計(1科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	4
	サ イ デ ー タ ス	Pythonによる数理解析	1後		2						1
		画像処理と実践応用演 習	1後		2						1
		小計(2科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	2
	レ ギ ュ ラ ト ー リ ー	レギュラトリーサイエン ス概論	1後	2			1	1			14
		小計(1科目)	—	2	0	0	1	1	0	0	14
ク ブ ト シ ス 科 目	重粒子線医理工連携 特論	1前	2			7			7		2
		小計(1科目)	—	2	0	0	7	0	0	7	2
医 理 工 共 通 科 目	研究倫理	1前		1							1
	研究倫理(e-learning)*1	1通		1							1
	放射線関連法規および 勧告*1	1通		1		1					
	情報処理学・画像工学 *1	1前		2		1					1
	統計・情報処理演習 A*1	1前		2							2
	解剖学*3	1前		1							3
	生理学*3	1後		1							1
	病理学*3	1後		2							4
	小計(8科目)	—	0	11	0	1	0	0	0	0	18
医 学 物 理 基 礎 科 目	放射線基礎物理学*1	1通		2		1					
	原子核物理学*3	1通		2		1			1		
	力学*3	1通		2		1					
	電磁気学*3	1通		2		1			1		
	量子力学*3	1通		2		1			1		
	物理数学*3	1通		1		1			1		
	小計(6科目)	—	0	11	0	1	0	0	3	0	0
重 粒 子 線 医 理 工 科 目	保健物理・放射線防護 学講義*1	1前		2		1			1		1
	放射線診断・核医学物 理学講義*1	1・2後		2		1			1		1
	放射線治療物理学講 義*1	1・2通		2		1			2		
	医学物理実習*1	1・2通		1		1			7		
	医学物理演習*1	1・2通		1		1			7		
	放射線計測学講義*1	1・2通		2		1			2		
	医用加速器工学*2	1通		2		1			1		
	小計(7科目)	—	0	12	0	1	0	0	6	0	2
生 命 医 科 学 科 目	生命医科学基礎実習A	1前		1							13
	生体分子情報学講義A	1前		2							2
	放射線生物学*1	1後		2		3			1		5
	重粒子線生命科学特 論	1・2後		2		1			1		
	臨床腫瘍学講義*2	1・2通		2		3					1
	臨床検査・画像核医学 講義*2	1前		2							2
	小計(6科目)	—	0	11	0	5	0	0	2	0	12

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
医理工連携科目	電子工学特論	1前		2							2
	シミュレーションとナノ計測工学特論	1前		2							2
	先端計測デバイス特論	1前		2		1					1
	計測制御工学特論	1後		2							1
	光デバイス工学特論	1後		2		1					1
	電子物性特論	2前		2		1					
	弾性波動学	1前		2		1					
	ヒューマンインタフェース特論	1後		2							1
	ケミカルバイオロジー特論	1前		2		1					1
	医学物理計測制御特論	1後		2							1
	小計(10科目)	—	0	20	0	5	0	0	0	0	10
インターンシップ	インターンシップⅠ	1・2通		1		10	1				
	インターンシップⅡ	1・2通		2		10	1				
	国際インターンシップⅠ	1・2通		1		10	1				
	国際インターンシップⅡ	1・2通		2		10	1				
	小計(4科目)	—	0	6	0	10	1	0	0	0	0
特別研究	特別演習	1・2通	4			10	1		8		
	特別実験	1・2通	8			10	1		8		
	小計(2科目)	—	12	0	0	10	1	0	8	0	0
合計(48科目)		—	18	75	0	10	1	0	8	0	61
卒業要件及び履修方法											
修了要件は、以下の要件を満たし、かつ32単位以上を修得するとともに、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。 1.大学院共通科目6単位以上を修得(アカデミックコミュニケーションから2単位、データサイエンスから2単位以上、レギュラトリーサイエンスから2単位) 2.プロジェクト系科目から2単位必修 3.医理工共通科目から1単位以上修得 4.医学物理基礎科目、重粒子線医理工科目、生命医科学科目、医理工連携科目から4単位以上を修得 5.特別演習4単位、特別実験8単位を修得 医学物理認定コース修了希望者は、上記の修了要件に加えて、 *1の科目を履修、*2の科目を1科目以上履修、*3の科目を本大学院入学時に未修得の場合は修得すること(大学院入学前に修得済の場合は履修不可)。											

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
医理工連携科目	電子工学特論	1前		2		1					2
	シミュレーションとナノ計測工学特論	1前		2		1					2
	先端計測デバイス特論	1前		2		1					1
	計測制御工学特論	1後		2							1
	光デバイス工学特論	1後		2		2					
	電子物性特論	1・2前		2		1					
	弾性波動学	1・2前		2		1					
	ヒューマンインタフェース特論	1後		2		1					
	ケミカルバイオロジー特論	1前		2		1					1
	医学物理計測制御特論	1後		2			1				
	生物有機化学特論	1前		2							2
	分子生物学特論	1前		2		1					1
	高分子化学特論	1前		2							2
	分析化学特論	1後		2							2
	応用複素解析特論	1後		2							1
	初等代数学特論	1前		2							1
	解析学特論	1前		2							1
	微分方程式と超関数入門	1後		2							1
	作用素論特論	1前		2							1
	小計(19科目)	—	0	38	0	7	1	0	0	0	18
インターンシップ	インターンシップⅠ	1・2通		1		13	2				
	インターンシップⅡ	1・2通		2		13	2				
	国際インターンシップⅠ	1・2通		1		13	2				
	国際インターンシップⅡ	1・2通		2		13	2				
	小計(4科目)	—	0	6	0	13	2	0	0	0	0
特別研究	特別演習	1・2通	4			13	2		10		
	特別実験	1・2通	8			13	2		10		
	小計(2科目)	—	12	0	0	13	2	0	10	0	0
合計(57科目)		—	18	93	0	13	2	0	10	0	71
卒業要件及び履修方法											
修了要件は、以下の要件を満たし、かつ32単位以上を修得するとともに、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。 1.大学院共通科目6単位以上を修得(アカデミックコミュニケーションから2単位、データサイエンスから2単位以上、レギュラトリーサイエンスから2単位) 2.プロジェクト系科目から2単位必修 3.医理工共通科目から1単位以上修得 4.医学物理基礎科目、重粒子線医理工科目、生命医科学科目、医理工連携科目から4単位以上を修得 5.特別演習4単位、特別実験8単位を修得 医学物理認定コース修了希望者は、上記の修了要件に加えて、 *1の科目を履修、*2の科目を1科目以上履修、*3の科目を本大学院入学時に未修得の場合は修得すること(大学院入学前に修得済の場合は履修不可)。											

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・教員配置の見直しのため「Pythonによる数理解析」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任1」に変更
 - ・教員配置の見直しのため「画像処理と実践応用演習」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任1」に変更
 - ・科目配置計画の見直しのため「Pythonによる数理解析」の配当年次を「1前」から「1後」に変更
 - ・科目配置計画の見直しのため「画像処理と実践応用演習」の配当年次を「1前」から「1後」に変更
 - ・専任教員の昇任により「重粒子線医理工連携特論」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授7」に変更、「准教授1」から「准教授0」に変更
 - ・教員配置の見直しのため「研究倫理」の専任教員等の配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任1」に変更
 - ・教員配置の見直しのため「研究倫理(e-learning)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更
 - ・科目配置計画の見直しのため「情報処理学・画像工学」の配当年次を「1通」から「1前」に変更
 - ・科目配置計画の見直しのため「生理学」の配当年次を「1通」から「1後」に変更
 - ・科目配置計画の見直しのため「病理学」の配当年次を「1通」から「1後」に変更
 - ・科目配置計画の見直しのため「放射線基礎物理学」の配当年次を「1後」から「1通」に変更
 - ・科目配置計画の見直しのため「保健物理・放射線防護学講義」の配当年次を「2通」から「1前」に変更
 - ・科目配置計画の見直しのため「放射線診断・核医学物理学物理学講義」の配当年次を「2通」から「1・2後」に変更
 - ・科目配置計画の見直しのため「放射線治療物理学講義」の配当年次を「2通」から「1・2通」に変更
 - ・教育課程充実のため「医学物理実習」の専任教員等の配置を「助教5」から「助教7」
 - ・教育課程充実のため「医学物理演習」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教7」
 - ・科目配置計画の見直しのため「医学物理実習」の配当年次を「2通」から「1・2通」に変更
 - ・科目配置計画の見直しのため「医学物理演習」の配当年次を「2通」から「1・2通」に変更
 - ・科目配置計画の見直しのため「放射線計測学講義」の配当年次を「2通」から「1・2通」に変更
 - ・教員配置の見直しのため「生命医科学基礎実習A」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任13」に変更
 - ・科目配置計画の見直しのため「重粒子線生命科学特論」の配当年次を「2前」から「1・2後」に変更
 - ・科目配置計画の見直しのため「臨床腫瘍学講義」の配当年次を「2通」から「1・2通」に変更
 - ・科目配置計画の見直しのため「臨床検査・画像学医学講義」の配当年次を「2通」から「1前」に変更
-
- ・教育課程充実のため「電子工学特論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更
 - ・教育課程充実のため「シミュレーションとナノ計測工学特論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更
 - ・教育課程充実のため「光デバイス工学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更
 - ・科目配置計画の見直しのため「電子物性特論」の配当年次を「2前」から「1・2前」に変更
 - ・科目配置計画の見直しのため「弾性波動学」の配当年次を「1前」から「1・2前」に変更
 - ・教育課程充実のため「ヒューマンインタフェース特論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更
 - ・教育課程充実のため「医学物理計測制御特論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更
 - ・教育課程充実のため「生物有機化学特論」「分子生物学特論」「高分子化学特論」「分析化学特論」「応用複素解析特論」「初等代数学特論」「解析学特論」「微分方程式と超関数論入門」「作用素論特論」の追加
 - ・教育課程充実のため「インターンシップⅠ」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授13」に変更、「准教授1」から「准教授2」に変更
 - ・教育課程充実のため「インターンシップⅡ」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授13」に変更、「准教授1」から「准教授2」に変更
 - ・教育課程充実のため「国際インターンシップⅠ」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授13」に変更、「准教授1」から「准教授2」に変更
 - ・教育課程充実のため「国際インターンシップⅡ」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授13」に変更、「准教授1」から「准教授2」に変更
 - ・教育課程充実のため「特別演習」専任教員等の配置を「教授10」から「教授13」に変更、「准教授1」から「准教授2」に変更、「助教8」から「助教10」に変更
 - ・教育課程充実のため「特別実験」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授13」に変更、「准教授1」から「准教授2」に変更、「助教8」から「助教10」に変更

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
5 科目	44 科目	0 科目	48 科目	5 科目 []	53 科目 [9]	0 科目 []	57 科目 [9]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{48} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備 考		
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校 舎 敷 地	386,831㎡ 383,963㎡ 383,068㎡	0㎡	0㎡	386,831㎡ 383,963㎡ 383,068㎡	用途区分の変更（6） 用途区分の修正による 変更（5）			
	運動場用地	93,558㎡	0㎡	0㎡	93,558㎡				
	小 計	480,389㎡ 477,521㎡ 476,626㎡	0㎡	0㎡	480,389㎡ 477,521㎡ 476,626㎡				
	そ の 他	151,645㎡ 154,513㎡ 155,408㎡	0㎡	0㎡	151,645㎡ 154,513㎡ 155,408㎡				
	合 計	632,034㎡	0㎡	0㎡	632,034㎡				
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		156,948 ㎡ 157,262 ㎡ 172,574 ㎡ (153,556 ㎡) -(172,574 ㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	156,948 ㎡ 157,262 ㎡ 172,574 ㎡ (153,556 ㎡) -(172,574 ㎡)	面積の誤記修正及び面 積区分の変更（6） 誤記による修正及び増 築に伴う（面積）変更 （4）			
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		100 室 92 室 84 室 90 室	179 室 164 室 162 室 29 室	866 室 827 室 711 室 952 室	5 室 6 室 9 室 6 室 (補助職員 1 人) -(補助職員 3 人) -(補助職員 4 人)	2 室 1 室 2 室 (補助職員 0 人) -(補助職員 1 人)	使用区分の変更（6） 使用区分変更（5） 使用区分変更・誤記に よる修正（4）		
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		医理エレギュラトリーサイエンス学環			15 室				
(5)図書・設備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能 なため、大学全体の数 図書等の購入及び整理 等に伴う変更（6） 図書等の購入及び整理 等に伴う変更（5） 図書等の購入及び整理 等に伴う変更（4） 図書等の購入及び整理 等に伴う変更（3） 不用品については 除却したため（6）	
	〇〇学部	604,888 [180,532] 602,440 [180,396] 606,094 [180,617] 608,912 [182,013] 616,123 [179,438] (604,888 [180,532]) -(602,440 [180,396]) -(606,094 [180,617]) -(608,912 [182,013]) -(616,123 [179,438])	22,800 [10,698] 22,978 [10,835] 15,620 [4,504] 15,672 [4,527] 15,642 [4,580] (22,800 [10,698]) -(22,978 [10,835]) -(15,620 [4,504]) -(15,672 [4,527]) -(15,642 [4,580])	8,051 [6,441] 8,191 [6,544] 8,226 [6,696] 8,246 [6,766] 7,505 [6,110] (8,051 [6,441]) -(8,191 [6,544]) -(8,226 [6,696]) -(8,246 [6,766]) -(7,505 [6,110])	3,716 3,982 4,704 (3,716) -(3,982) -(4,704)	7,225 8,418 8,169 8,192 7,898 (7,225) -(8,418) (8,169) (8,192) (7,898)	25 (25)		
		計	604,888 [180,532] 602,440 [180,396] 606,094 [180,617] 608,912 [182,013] 616,123 [179,438] (604,888 [180,532]) -(602,440 [180,396]) -(606,094 [180,617]) -(608,912 [182,013]) -(616,123 [179,438])	22,800 [10,698] 22,978 [10,835] 15,620 [4,504] 15,672 [4,527] 15,642 [4,580] (22,800 [10,698]) -(22,978 [10,835]) -(15,620 [4,504]) -(15,672 [4,527]) -(15,642 [4,580])	8,051 [6,441] 8,191 [6,544] 8,226 [6,696] 8,246 [6,766] 7,505 [6,110] (8,051 [6,441]) -(8,191 [6,544]) -(8,226 [6,696]) -(8,246 [6,766]) -(7,505 [6,110])	3,716 3,982 4,704 (3,716) -(3,982) -(4,704)	7,225 8,418 8,169 8,192 7,898 (7,225) -(8,418) (8,169) (8,192) (7,898)		25 (25)
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		9,750㎡		1,057 席 927 席		778,945 冊 894,000 冊		レイアウト変更に伴う 座席数の変更（4） 誤記による収容可能冊 数の修正（4）	
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		5,708㎡		野球場2面、陸上競技場1面、サッカー・ラグビー場2面、 テニスコート12面					
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- （注）・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（6）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - 国立大学については「（8）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	群 馬 大 学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数		収容定員充足率1.15倍以上の学科数	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号		収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考		
	年	人	年次人	人			倍	倍	年度	年度				
共同教育学部	4	190	0	760	-		1.07	1.06	-	令和2	-			
学校教育教員養成課程	4	190	0	760	学士(教育学)		1.07	1.06	-	令和2	群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地			
教育学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	昭和41	-			
学校教育教員養成課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	-	平成11	群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地	令和2年度入学生より学生募集停止		
情報学部	4	170	3年次10	700	-		1.01	-	-	令和3	-			
情報学科	4	170	3年次10	700	学士(情報学)		1.01	-	-	令和3	群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地			
社会情報学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	平成5	-			
社会情報学科	4	-	-	-	学士(社会情報学)	-	-	-	-	平成28	群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地	令和3年度入学生より学生募集停止		
医学部	-	268	2年次15 3年次10	1,383	-		1.01	0.99	令和6	昭和24	-			
医学科	6	108	2年次15	723	学士(医学)		1.04	1.01	令和6	昭和24	群馬県前橋市昭和町三丁目39番22号	令和6年度医学部臨時定員増(90→108)		
保健学科	4	160	3年次10	660	学士(保健学) 学士(看護学)		0.98	-	-	平成8	同上			
理工学部	4	470	3年次23	1,926	-		1.02	-	-	平成25	-			
(昼間コース)														
物質・環境類	4	285	3年次10	1160	学士(理工学)		1.01	-	-	令和3	群馬県桐生市天神町一丁目5番1号			
電子・機械類	4	185	3年次13	766	学士(理工学)		1.04	-	-	令和3	同上			
化学・生物化学科	4	-	-	-	学士(理工学)	-	-	-	-	平成25	同上	令和3年度入学生より学生募集停止		
機械知能システム理工学科	4	-	-	-	学士(理工学)	-	-	-	-	平成25	同上	令和3年度入学生より学生募集停止		
環境創生理工学科	4	-	-	-	学士(理工学)	-	-	-	-	平成25	同上	令和3年度入学生より学生募集停止		
電子情報理工学科	4	-	-	-	学士(理工学)	-	-	-	-	平成25	同上	令和3年度入学生より学生募集停止		
学科共通	-	-	3年次-	-	-	-	-	-	-	平成27	同上	令和5年度入学生より学生募集停止		
(夜間主コース)														
総合理工学科	4	-	-	-	学士(理工学)	-	-	-	-	平成25	同上	令和3年度入学生より学生募集停止		
大学全体	4	1,098	2年次15 3年次43	4,769	-	-	-	-	-	-	-			

(注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<医理工レギュラトリーサイエンス学環>

(1) ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大野 達也 <令和6年4月> 博士(医学)
		レギュラトリーサイエンス概論※ 放射線生物学※ 臨床腫瘍学講義※ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 特別演習 特別実験
専	教授	河村 英将 <令和6年4月> 博士(医学)
		重粒子線医理工連携特論※ 放射線生物学※ 臨床腫瘍学講義※ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 特別演習 特別実験
専	教授	櫻井 浩 <令和6年4月> 博士(工学)
		重粒子線医理工連携特論※ 電子物性特論【隔年】 インターンシップⅠ インターンシップⅡ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 特別演習 特別実験
専	教授	鈴木 和浩 <令和6年4月> 博士(医学)
		臨床腫瘍学講義※ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 特別演習 特別実験

【令和6年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大野 達也 <令和6年4月> 博士(医学)
		レギュラトリーサイエンス概論※ 放射線生物学※ 臨床腫瘍学講義※ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 特別演習 特別実験
専	教授	河村 英将 <令和6年4月> 博士(医学)
		重粒子線医理工連携特論※ 放射線生物学※ 臨床腫瘍学講義※ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 特別演習 特別実験
専	教授	櫻井 浩 <令和6年4月> 博士(工学)
		重粒子線医理工連携特論※ 電子物性特論【隔年】 インターンシップⅠ インターンシップⅡ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 特別演習 特別実験
専	教授	鈴木 和浩 <令和6年4月> 博士(医学)
		臨床腫瘍学講義※ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 特別演習 特別実験

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	曾根 逸人 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		重粒子線医理工連携特論※ 先端計測デバイス特論※ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 特別演習 特別実験
専	教授	高橋 昭久 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		重粒子線医理工連携特論※ 重粒子線生命科学特論※ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 特別演習 特別実験
専	教授	武田 茂樹 ＜令和6年4月＞ 工学博士
		ケミカルバイオロジー特論※ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 特別演習 特別実験

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		鈴木 孝明 ＜令和6年4月＞ 博士（エネルギー科学）
専	教授	インターンシップⅠ インターンシップⅡ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 特別演習 特別実験
		曾根 逸人 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
専	教授	電子工学特論※ シミュレーションとナノ計測工学特論※ 重粒子線医理工連携特論※ 先端計測デバイス特論※ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 特別演習 特別実験
		高橋 昭久 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
専	教授	重粒子線医理工連携特論※ 重粒子線生命科学特論※ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 特別演習 特別実験
		武田 茂樹 ＜令和6年4月＞ 工学博士
専	教授	ケミカルバイオロジー特論※ 分子生物学特論※ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 特別演習 特別実験

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田代 睦 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		重粒子線医理工連携特論※ 放射線関連法規および勧告 情報処理学・画像工学※ 放射線基礎物理学 原子核物理学※ 力学 電磁気学※ 量子力学※ 物理数学※ 保健物理・放射線防護学講義※ 放射線診断・核医学物理学講義※ 放射線治療物理学講義※ 医学物理実習 医学物理演習 放射線計測学講義※ 医用加速器工学※ 放射線生物学※ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 特別演習 特別実験
専	教授	花泉 修 ＜令和6年4月＞ 工学博士
		重粒子線医理工連携特論※ 光デバイス工学特論※ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 特別演習 特別実験
専	教授	山口 誉夫 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		弾性波動学【隔年】 インターンシップⅠ インターンシップⅡ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 特別演習 特別実験
専	准教授	加田 渉 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		レギュラトリーサイエンス概論※ 重粒子線医理工連携特論※ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 特別演習 特別実験

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田代 睦 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		重粒子線医理工連携特論※ 放射線関連法規および勧告 情報処理学・画像工学※ 放射線基礎物理学 原子核物理学※ 力学 電磁気学※ 量子力学※ 物理数学※ 保健物理・放射線防護学講義※ 放射線診断・核医学物理学講義※ 放射線治療物理学講義※ 医学物理実習 医学物理演習 放射線計測学講義※ 医用加速器工学※ 放射線生物学※ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 特別演習 特別実験
専	教授	花泉 修 ＜令和6年4月＞ 工学博士
		重粒子線医理工連携特論※ 光デバイス工学特論※ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 特別演習 特別実験
専	教授	山口 誉夫 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		弾性波動学【隔年】 インターンシップⅠ インターンシップⅡ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 特別演習 特別実験

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	川嶋 基敬 <令和6年4月> 博士(医学)
		重粒子線医理工連携特論※ 原子核物理学※ 放射線治療物理学講義※ 医学物理実習 特別演習 特別実験
専	助教	酒井 真理 <令和6年4月> 博士(工学)
		重粒子線医理工連携特論※ 放射線治療物理学講義※ 医学物理実習 特別演習 特別実験
専	助教	島田 博文 <令和6年4月> 博士(工学)
		重粒子線医理工連携特論※ 保健物理・放射線防護学講義※ 放射線診断・核医学物理学講義※ 医学物理実習 医学物理演習 特別演習 特別実験
専	助教	中尾 政夫 <令和6年4月> 博士(理学)
		重粒子線医理工連携特論※ 医用加速器工学※ 特別演習 特別実験

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	吉原 利忠 <令和6年4月> 博士(工学)
		インターンシップⅠ インターンシップⅡ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 特別演習 特別実験
専	助教	川嶋 基敬 <令和6年4月> 博士(医学)
		重粒子線医理工連携特論※ 原子核物理学※ 放射線治療物理学講義※ 医学物理実習 医学物理演習 特別演習 特別実験
専	助教	酒井 真理 <令和6年4月> 博士(工学)
		重粒子線医理工連携特論※ 放射線治療物理学講義※ 医学物理実習 医学物理演習 特別演習 特別実験
専	助教	島田 博文 <令和6年4月> 博士(工学)
		重粒子線医理工連携特論※ 保健物理・放射線防護学講義※ 放射線診断・核医学物理学講義※ 医学物理実習 医学物理演習 特別演習 特別実験
専	助教	張 慧 <令和6年4月> 博士(工学)
		特別演習 特別実験
専	助教	中尾 政夫 <令和6年4月> 博士(理学)
		重粒子線医理工連携特論※ 医学物理実習 医学物理演習 医用加速器工学※ 特別演習 特別実験

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	松村 彰彦 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		重粒子線医理工連携特論※ 量子力学※ 物理数学※ 医学物理実習 放射線計測学講義※ 特別演習 特別実験
専	助教	遊佐 顕 ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		重粒子線医理工連携特論※ 電磁気学※ 医学物理実習 医学物理演習 放射線計測学講義※ 特別演習 特別実験
専	助教	吉田（柳澤）由香里 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		重粒子線医理工連携特論※ 重粒子線生命科学特論※ 特別演習 特別実験
専	助教	VARNAVA MARIA ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		放射線生物学※ 特別演習 特別実験
兼任	教授	青木 悠樹 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		Pythonによる数理解析 画像処理と実践応用演習 レギュラトリーサイエンス概論※
兼任	教授	飯島 睦美 ＜令和6年4月＞ MA (TEFL) (英国)
		Research Skills - Presentation and Writing効果的なプレゼンスキルとライティン グスキル
兼任	教授	岩崎 広英 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		解剖学※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	松村 彰彦 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		重粒子線医理工連携特論※ 量子力学※ 物理数学※ 医学物理実習 医学物理演習 放射線計測学講義※ 特別演習 特別実験
専	助教	遊佐 顕 ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		重粒子線医理工連携特論※ 電磁気学※ 医学物理実習 医学物理演習 放射線計測学講義※ 特別演習 特別実験
専	助教	吉田（柳澤）由香里 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		重粒子線医理工連携特論※ 重粒子線生命科学特論※ 特別演習 特別実験
専	助教	VARNAVA MARIA ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		医学物理実習 医学物理演習 放射線生物学※ 特別演習 特別実験
兼任	教授	青木 悠樹 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		Pythonによる数理解析 レギュラトリーサイエンス概論※
兼任	教授	飯島 睦美 ＜令和6年4月＞ MA (TEFL) (英国)
		Research Skills - Presentation and Writing効果的なプレゼンスキルとライティン グスキル
兼任	教授	伊藤 正実 ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		生命医科学基礎実習A
兼任	教授	岩崎 広英 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		解剖学※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	尹 友 ＜令和6年4月＞ 博士（工学） 先端計測デバイス特論※
兼任	教授	小山 徹也 ＜令和6年4月＞ 医学博士 病理学※
兼任	教授	金泉 志保美 ＜令和6年4月＞ 博士（保健学） 研究倫理※
兼任	教授	鯉淵 典之 ＜令和6年4月＞ 医学博士 生理学 生命医科学基礎実習A
兼任	教授	齊尾 征直 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 研究倫理※
兼任	教授	鈴木 裕之 ＜令和6年4月＞ 博士（工学） Pythonによる数理解析 画像処理と実践応用演習 レギュラトリーサイエンス概論※
兼任	教授	対馬 義人 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 放射線生物学※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	尹 友 ＜令和6年4月＞ 博士（工学） 先端計測デバイス特論※
兼任	教授	Md. Zakir Hossain ＜令和6年4月＞ 博士（化学） 分析化学特論※
兼任	教授	尾崎 広明 ＜令和6年4月＞ 工学博士 生物有機化学特論※
兼任	教授	小山 徹也 ＜令和6年4月＞ 医学博士 病理学※
兼任	教授	川辺 浩志 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 生命医科学基礎実習A
兼任	教授	鯉淵 典之 ＜令和6年4月＞ 医学博士 生理学 生命医科学基礎実習A
兼任	教授	齊尾 征直 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 研究倫理 研究倫理(e-learning)
兼任	教授	佐藤 記一 ＜令和6年4月＞ 博士（農学） 分析化学特論※
兼任	教授	鈴木 裕之 ＜令和6年4月＞ 博士（工学） 画像処理と実践応用演習 レギュラトリーサイエンス概論※
兼任	教授	田沼 一実 ＜令和6年4月＞ 博士（理学） 微分方程式と超関数論入門
兼任	教授	対馬 義人 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 放射線生物学※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	中沢 信明 ＜令和6年4月＞ 博士（情報科学）
		ヒューマンインタフェース特論
兼任	教授	NEUPANE PRAMILA ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		Research Skills - Presentation and Writing効果的なプレゼンスキルとライティングスキル
兼任	教授	服部 健司 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		研究倫理※ 研究倫理(e-learning)
兼任	教授	浜崎 景 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		統計・情報処理演習A※
兼任	教授	久田 剛志 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		研究倫理※
兼任	教授	平井 宏和 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		研究倫理※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	富田 治芳 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		生命医科学基礎実習A
専	教授	中沢 信明 ＜令和6年4月＞ 博士（情報科学）
		ヒューマンインタフェース特論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 特別演習 特別実験
兼任	教授	二村 圭佑 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		生命医科学基礎実習A
兼任	教授	NEUPANE PRAMILA ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		Research Skills - Presentation and Writing効果的なプレゼンスキルとライティングスキル
兼任	教授	秦 健一郎 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		生命医科学基礎実習A
兼任	教授	畑田 出穂 ＜令和6年4月＞ 理学博士
		生命医科学基礎実習A
兼任	教授	浜崎 景 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		統計・情報処理演習A※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	松尾 一郎 ＜令和6年4月＞ 博士（農学） ケミカルバイオロジー特論※
		南嶋 洋司 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 生体分子情報学講義A※
兼任	教授	茂木 精一郎 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 研究倫理※
		山田 功 ＜令和6年4月＞ 博士（工学） 重粒子線医理工連携特論※ 計測制御工学特論
兼任	教授	山本 康次郎 ＜令和6年4月＞ 博士（薬学） レギュラトリーサイエンス概論※
		弓仲 康史 ＜令和6年4月＞ 博士（工学） レギュラトリーサイエンス概論※
兼任	教授	横尾 英明 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 病理学※
		横山 知行 ＜令和6年4月＞ 医学博士 研究倫理※
兼任	准教授	荒木 拓也 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） レギュラトリーサイエンス概論※
		井手野 由季 ＜令和6年4月＞ 博士（保健学） レギュラトリーサイエンス概論※
兼任	准教授	内田 満夫 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 統計・情報処理演習A※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	松尾 一郎 ＜令和6年4月＞ 博士（農学） ケミカルバイオロジー特論※
		南嶋 洋司 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 生体分子情報学講義A※
兼任	教授	山田 功 ＜令和6年4月＞ 博士（工学） 重粒子線医理工連携特論※ 計測制御工学特論
		山本 康次郎 ＜令和6年4月＞ 博士（薬学） レギュラトリーサイエンス概論※
兼任	教授	弓仲 康史 ＜令和6年4月＞ 博士（工学） レギュラトリーサイエンス概論※
		横尾 英明 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 病理学※
兼任	教授	渡辺 秀司 ＜令和6年4月＞ 理学博士 作用素論特論
		荒木 拓也 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） レギュラトリーサイエンス概論※
兼任	准教授	井手野 由季 ＜令和6年4月＞ 博士（保健学） レギュラトリーサイエンス概論※
	教授	内田 満夫 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 統計・情報処理演習A※ 生命医科学基礎実習A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	岡本 雅彦 ＜令和6年4月＞ 博士(医学) 放射線生物学※
兼任	准教授	片山 佳代子 ＜令和6年4月＞ 博士(医学) レギュラトリーサイエンス概論※
兼任	准教授	木村 孝穂 ＜令和6年4月＞ 博士(医学) 臨床検査・画像核医学講義※
兼任	准教授	齋藤 勇一郎 ＜令和6年4月＞ 博士(医学) レギュラトリーサイエンス概論※
兼任	准教授	定方 哲史 ＜令和6年4月＞ 博士(医学) 生命医科学基礎実習A
兼任	准教授	佐野 孝昭 ＜令和6年4月＞ 博士(医学) 病理学※
兼任	准教授	鈴木 宏輔 ＜令和6年4月＞ 博士(工学) 医学物理計測制御特論
兼任	准教授	高木 理 ＜令和6年4月＞ 博士(数学) レギュラトリーサイエンス概論※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	大上 厚志 ＜令和6年4月＞ 博士(医学) 生命医科学基礎実習A
兼任	准教授	奥 浩之 ＜令和6年4月＞ 博士(理学) 高分子化学特論※
兼任	准教授	岡本 雅彦 ＜令和6年4月＞ 博士(医学) 放射線生物学※
兼任	准教授	片山 佳代子 ＜令和6年4月＞ 博士(医学) レギュラトリーサイエンス概論※
兼任	准教授	木村 孝穂 ＜令和6年4月＞ 博士(医学) 臨床検査・画像核医学講義※
兼任	准教授	齋藤 勇一郎 ＜令和6年4月＞ 博士(医学) レギュラトリーサイエンス概論※
兼任	准教授	定方 哲史 ＜令和6年4月＞ 博士(医学) 生命医科学基礎実習A
兼任	准教授	佐野 孝昭 ＜令和6年4月＞ 博士(医学) 病理学※
専	准教授	鈴木 宏輔 ＜令和6年4月＞ 博士(工学) レギュラトリーサイエンス概論※ 医学物理計測制御特論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 特別演習 特別実験
兼任	准教授	高江州 俊光 ＜令和6年4月＞ 博士(数理学) 解析学特論
兼任	准教授	高木 理 ＜令和6年4月＞ 博士(数学) レギュラトリーサイエンス概論※ 生命医科学基礎実習A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	高波(飯村) 幸代 ＜令和6年4月＞ 博士（言語学） Research Skills - Presentation and Writing効果的なプレゼンスキルとライティン グスキル
		長井 万恵 ＜令和6年4月＞ 博士（保健学） レギュラトリーサイエンス概論※
兼任	准教授	信澤 純人 ＜令和6年4月＞ 博士(医学) 病理学※
		樋口 徹也 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 放射線生物学※
兼任	准教授	BERGERON SYLVAIN ＜令和6年4月＞ Med (TESOL) (豪州) Research Skills - Presentation and Writing効果的なプレゼンスキルとライティン グスキル

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	高波(飯村) 幸代 ＜令和6年4月＞ 博士（言語学） Research Skills - Presentation and Writing効果的なプレゼンスキルとライティン グスキル
		長井 万恵 ＜令和6年4月＞ 博士（保健学） レギュラトリーサイエンス概論※
兼任	准教授	名越 弘文 ＜令和6年4月＞ 博士（理学） 応用複素解析特論
		行木 信一 ＜令和6年4月＞ 博士（理学） 分子生物学特論※
兼任	准教授	信澤 純人 ＜令和6年4月＞ 博士(医学) 病理学※
		樋口 徹也 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 放射線生物学※
兼任	准教授	平川 秀忠 ＜令和6年4月＞ 博士（薬学） 生命医科学基礎実習A
		BERGERON SYLVAIN ＜令和6年4月＞ Med (TESOL) (豪州) Research Skills - Presentation and Writing効果的なプレゼンスキルとライティン グスキル
兼任	准教授	宮崎 隆史 ＜令和6年4月＞ 博士（理学） 初等代数学特論
		森口 朋尚 ＜令和6年4月＞ 博士（理学） 生物有機化学特論※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	三浦 健太 ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		光デバイス工学特論※
兼任	准教授	村上 徹 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		解剖学※
兼任	講師	尾池 貴洋 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		放射線生物学※
兼任	講師	渋谷 圭 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		レギュラトリーサイエンス概論※ 放射線生物学※
兼任	講師	常川 勝彦 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		臨床検査・画像核医学講義※
兼任	講師	中村 賢治 ＜令和6年4月＞ 博士（保健福祉学）
		Pythonによる数理解析 画像処理と実践応用演習
兼任	講師	松井 博 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		臨床腫瘍学講義※
兼任	講師	森 禎徳 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理※ 研究倫理(e-learning)
兼任	助教	一ノ瀬 聡太郎 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		解剖学※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	三浦 健太 ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		重粒子線医理工連携特論※ 光デバイス工学特論※ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 特別演習 特別実験
兼任	准教授	村上 徹 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		解剖学※
兼任	准教授	米山 賢 ＜令和6年4月＞ 工学博士
		高分子化学特論※
兼任	講師	尾池 貴洋 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		放射線生物学※
兼任	講師	渋谷 圭 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		レギュラトリーサイエンス概論※ 放射線生物学※
兼任	講師	常川 勝彦 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		臨床検査・画像核医学講義※
兼任	講師	松井 博 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		臨床腫瘍学講義※
兼任	助教	一ノ瀬 聡太郎 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		解剖学※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	八島 秀明 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		レギュラトリーサイエンス概論※
兼任	講師	赤羽 恵一 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		保健物理・放射線防護学講義※
兼任	講師	有村 秀孝 ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		情報処理学・画像工学※
兼任	講師	岩崎 富生 ＜令和6年4月＞ 理学博士
		シミュレーションとナノ計測工学特論※
兼任	講師	神谷 富裕 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		重粒子線医理工連携特論※
兼任	講師	孝橋 照生 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		電子工学特論
兼任	講師	小松 康宏 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		レギュラトリーサイエンス概論※
兼任	講師	齊藤 和夫 ＜令和6年4月＞ 理学博士
		電子工学特論
兼任	講師	立井 一明 ＜令和6年4月＞ 医学博士
		生体分子情報学講義A※
兼任	講師	津川 友介 ＜令和6年4月＞ Ph. D(米国)
		レギュラトリーサイエンス概論※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	八島 秀明 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		レギュラトリーサイエンス概論※
兼任	助教	藤原 悠基 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		生命医科学基礎実習A
兼任	講師	赤羽 恵一 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		保健物理・放射線防護学講義※
兼任	講師	有村 秀孝 ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		情報処理学・画像工学※
兼任	講師	岩崎 富生 ＜令和6年4月＞ 理学博士
		シミュレーションとナノ計測工学特論※
兼任	講師	神谷 富裕 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		重粒子線医理工連携特論※
兼任	講師	孝橋 照生 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		電子工学特論
兼任	講師	小松 康宏 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		レギュラトリーサイエンス概論※
兼任	講師	齊藤 和夫 ＜令和6年4月＞ 理学博士
		電子工学特論
兼任	講師	立井 一明 ＜令和6年4月＞ 医学博士
		生体分子情報学講義A※
兼任	講師	西崎 祐史 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		レギュラトリーサイエンス概論※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	原田 研 ＜令和6年4月＞ 工学博士
		シミュレーションとナノ計測工学特論※
兼任	講師	渡部 浩司 ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		放射線診断・核医学物理学講義※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	原田 研 ＜令和6年4月＞ 工学博士
		シミュレーションとナノ計測工学特論※
兼任	講師	渡部 浩司 ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		放射線診断・核医学物理学講義※

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目名を記入してください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・令和6年4月 専任教員追加（鈴木孝明教授、中沢信明教授、三浦健太教授、鈴木宏輔准教授、吉原利忠准教授、張慧助教）教員審査省略
- ・令和6年4月 内田満夫教授昇任 教員審査省略
- ・令和5年9月 退職（加田渉准教授）
- ・授業科目「インターンシップⅠ」担当の追加（専任鈴木孝明教授、専任中沢信明教授、専任三浦健太教授、専任鈴木宏輔准教授、専任吉原利忠准教授）
- ・授業科目「インターンシップⅡ」担当の追加（専任鈴木孝明教授、専任中沢信明教授、専任三浦健太教授、専任鈴木宏輔准教授、専任吉原利忠准教授）
- ・授業科目「国際インターンシップⅠ」担当の追加（専任鈴木孝明教授、専任中沢信明教授、専任三浦健太教授、専任鈴木宏輔准教授、専任吉原利忠准教授）
- ・授業科目「国際インターンシップⅡ」担当の追加（専任鈴木孝明教授、専任中沢信明教授、専任三浦健太教授、専任鈴木宏輔准教授、専任吉原利忠准教授）
- ・授業科目「特別演習」担当の追加（専任鈴木孝明教授、専任中沢信明教授、専任三浦健太教授、専任鈴木宏輔准教授、専任吉原利忠准教授、専任張慧助教）
- ・授業科目「特別実習」担当の追加（専任鈴木孝明教授、専任中沢信明教授、専任三浦健太教授、専任鈴木宏輔准教授、専任吉原利忠准教授、専任張慧助教）
- ・授業科目「研究倫理」担当の削除（兼担金泉志保美教授、兼担服部健司教授、兼担久田剛志教授、兼担平井宏和教授、兼担茂木精一郎教授、兼担横山知行教授、兼担森禎徳講師）
- ・授業科目「研究倫理(e-leraning)」担当の削除（兼担服部健司教授、兼担森禎徳講師）
- ・授業科目「研究倫理(e-leraning)」担当の追加（専任齊尾征直教授）
- ・授業科目「医学物理演習」担当の追加（専任川嶋基敬助教、専任酒井真理助教、専任中尾政夫助教、専任松村彰彦助教、専任VARNAVA MARIA助教）
- ・授業科目「医学物理実習」担当の追加（専任中尾政夫助教、専任VARNAVA MARIA助教）
- ・授業科目「生命医科学基礎実習A」担当の追加（兼担伊藤正実教授、兼担川辺浩志教授、兼担富田芳光教授、兼担二村圭佑教授、兼担秦健一郎教授、兼担畑田出穂教授、兼担内田満夫教授、兼担大上厚志准教授、兼担高木理准教授、兼担平川秀忠准教授、兼担藤原悠基助教）
- ・授業科目「電子工学特論」担当の追加（専任曾根逸人教授）
- ・授業科目「シミュレーションとナノ計測工学」担当の追加（専任曾根逸人教授）
- ・授業科目「生物有機化学特論」の追加（兼担尾崎広明教授、兼担森口朋尚准教授）
- ・授業科目「分子生物学特論」の追加（専任武田茂樹教授、兼担行木信一准教授）
- ・授業科目「高分子化学特論」の追加（兼担奥浩之准教授、兼担米山賢准教授）
- ・授業科目「分析化学特論」の追加（兼担Md. Zakir Hossain教授、兼担佐藤記一教授）
- ・授業科目「応用複素解析特論」の追加（兼担名越弘文准教授）
- ・授業科目「初等代数学特論」の追加（兼担宮崎隆史准教授）
- ・授業科目「解析学特論」の追加（兼担高江洲俊光准教授）
- ・授業科目「微分方程式と超関数論入門」の追加（兼担田沼一実教授）
- ・授業科目「作用素論特論」の追加（兼担渡辺秀司教授）
- ・授業科目「レギュラトリーサイエンス概論」担当の削除（兼任津川友介講師）
- ・授業科目「レギュラトリーサイエンス概論」担当の追加（専任鈴木宏輔准教授、兼任西崎祐史講師）
- ・授業科目「Pythonによる数理解析」担当の削除（兼担鈴木裕之教授、兼担中村賢治講師）
- ・授業科目「画像処理と実践応用演習」担当の削除（兼担青木悠樹教授、兼担中村賢治講師）

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和５年度開設であれば令和４年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
6	4	0
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により
算出される教員数を記入してください。

(2)－② 専任教員等数【大学院】

設 置 時 の 計 画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
10	1	0	8	19	0	13	2	0	10	25	0
(13)	(2)	(0)	(10)	(25)	(0)						
研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
11	10	8	0			15	13	10	0		
(15)	(13)	(10)	(0)								
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
13	2	0	10	25	0	15	2	0	10	25	0
[3]	[1]	[0]	[2]	[6]	[0]	[3]	[1]	[0]	[2]	[6]	[0]
研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
15	13	10	0			15	13	10	0		
[11]	[10]	[8]	[0]			[11]	[10]	[8]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{25}{19} = \boxed{131.57} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{25} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由
(3)－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	准教授	加田 渉	R5. 9	必修	レギュラトリーサイエンス概論	①	R5. 10. 1付け他大学に異動のため就任辞退（6）						
				必修	重粒子線医理工連携特論	①							
				選択	インターンシップⅠ	①							
				選択	インターンシップⅡ	①							
				選択	国際インターンシップⅠ	①							
				選択	国際インターンシップⅡ	①							
				必修	特別演習	①							
				必修	特別実験	①							
合計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
1	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	8	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「（3）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		該当なし											
合計（F）						後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－③ 上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計（D）＋（F）				後任補充状況の集計（E）＋（G）							
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
1	人	必修	4 科目	必修	4 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	4 科目	選択	4 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	8 科目	計	8 科目	計	0 科目	計	0 科目		

(3)－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)－③合計(D)+(F)

(2)－②設置時の計画(A)

=

1

19

=

5.26

%

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)-5 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1人

(注)・(3)-1、(3)-2で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
・令和6年度開設の学科等の場合、(D)+(F)と同数を記載してください。

(3)-6 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人		必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
			選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
			自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
			計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注)・定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
・昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する(している)場合は「①」
 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 - ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和6年度開設前に、学長リーダーシップのもと、適切に専任教員を補充しており、学環運営及び学生への影響はない。

(注)・上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況		今後の の実施計画
	該当なし				

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。） と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
- 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
- 令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。
- 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
- 令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）（6）」と記載してください。
- 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
- 「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<医理エレギュラトリーサイエンス学環>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 医理エレギュラトリーサイエンス学環運営委員会 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 毎月開催予定 c 委員会の審議事項等 教育の内部質保証に係る規程の制定 ② 実施状況 a 実施内容 なし（教職員対象のFD・SDは連係協力研究科において実施する） b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む） d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 前期及び後期の学期末に実施予定 b 教員や学生への公開状況、方法等 教員 アンケート実施について運営委員会にて周知予定 学生 教務システムにて周知し、学生に回答を行ってもらう予定
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・設置の目的達成に向け、おおむね計画どおりに進捗している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・中期計画に基づく自己点検・評価を年2回（中間・最終）実施し、全学委員会の大学評価室に報告
また、自己点検・評価を大学評価室で実施

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・令和11年に評価機関（大学改革支援学位授与機構）の評価を受ける予定。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。